

<事業名> 奥八田交流会

団体名	奥八田地域づくり協議会
所在地	(市町名) 新温泉町
代表者名	会長 中村幸夫

事業内容	開催日：令和3年12月5日（日） 場所：奥八田交流館 参加者：約60人	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新施設の見学</li> <li>・地元コーラスグループの発表</li> <li>・記念講演（元智頭町長）</li> <li>・地元を題材としたクイズ</li> <li>・地元郷土芸能（海上傘踊り）発表</li> <li>・地域思い出写真展</li> </ul>	
地域	奥八田地域	
事業の効果	① 団体（組織）内の効果 当該事業は、地域交流施設の開館記念事業として実施したもので、10人のスタッフで約4カ月前から準備を始めた。新型コロナウイルス感染防止の観点から事業内容の見直しを行いながら実施に至った。そして、事業後には、多くの参加者から好評の言葉を受け、今後の新施設を利用したイベント等の実施に向けて、自信と意欲が高まった。	
	② 地域への効果 昨年からのコロナ禍により、地域では久しぶりのイベント開催となり、併せて新施設開館を地域の関係者に披露できた。また、参加者からは好評の声を得ることができた。このことは、今後の当地域内外の人々の交流事業の活性化に繋がっていくものと考ええる。	
事業経過	3年8月20日	第1回準備会
	3年9月25日	第2回準備会
	3年10月10日	第3回準備会
	3年11月20日	第4回準備会
	3年12月4日	会場準備
	3年12月5日	事業（奥八田交流会）実施
	3年12月5日	事業反省会
	3年12月17日	事業完了

協働の相手方	なし
今後の課題等	<p>〈事業を実施する上での課題〉</p> <p>① 団体（組織）の課題 組織の活性化のため、メンバーの世代交代や増員が課題となっている。</p> <p>② 地域の課題 少子高齢化と過疎化が顕著な地域であるが、新しい施設の開館を契機に地域の新しい交流の場として、地域の活性化が進むことを期待したい。ただ、グループ活動やサークル活動の中心となるリーダー不足が懸念される。</p> <p>〈令和4年度以降の事業計画〉 新型コロナの感染状況に配慮しながら、多くの地域住民が参加できる事業を検討していく。</p>



3年12月5日 地元コーラスグループ発表



3年12月5日 記念講演：寺谷誠一郎氏



3年12月5日 奥八田クイズの様子



3年12月5日 郷土芸能：海上傘踊り